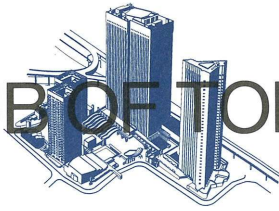




THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2000 : ACT WITH CONSISTENCY, CREDIBILITY, CONTINUITY

「ロータリー2000：活動は一 堅実、信望、持続」

1999～2000年度・国際ロータリーテーマ/カルロ・ラビッツ会長

「皆のロータリー—新しい発想と実践」

1999～2000年度・東京新南ロータリークラブテーマ/渡部 元会長

本日の例会 10月29日 第630回例会

ガバナー公式訪問

R I 第2750地区

小林禮次郎ガバナーをお迎えして
(東京南・東京新南合同例会)

ガバナー・会長・会長エレクト・幹事懇談会

(11:00～12:00)

小林 禮次郎氏 プロフィール



生年月日

昭和3年5月7日

現住所

東京都文京区本駒込6丁目19番3号

学 歴

昭和26年 早稲田大学 理工学部応用化学科卒業

職 歴

昭和26年 株式会社小林コーセイ (現 (株)コーセイ) 入社
昭和56年 株式会社小林コーセイ 代表取締役社長に就任
平成9年 株式会社コーセイ 代表取締役会長に就任

役 職

昭和63年 日本化粧品工業連合会 副会長(現)
平成7年 財団法人コスメトロジー研究振興財団理事長(現)
平成8年 学校法人コーセイ学園(東京ヘアメイク専門学校) 理事長(現)

平成10年 早稲田大学理事(現)

ロータリー一歴

1966年10月 東京日本橋ロータリークラブ入会
1997～98年 クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー、米山功労者、
ベネファクター

賞 罰

昭和60年10月 薬事功労者厚生大臣表彰
平成4年11月 藍綬褒章
平成10年11月 勲二等瑞宝章

資格等

平成9年 工学博士(早稲田大学理工学部)

『奉仕の哲学』(シェルドン著・宮本正祥・宮武保義訳)の取り持つ交流

「文庫通信」に『奉仕の哲学』が紹介されました。

去る10月8日、北九州市小倉西RCの小林一誠会員より、下記のファックスを頂きました。

「この度貴クラブより、『奉仕の哲学』(シェルドン著・宮本正祥・宮武保義 共訳)を御出版なされたという情報に接しました。是非一読致したく、御面倒ながら御送付いただければ幸甚に存じます。なお代金、送料等もお知らせ下さい。よろしくお願い申し上げます」

さっそく、事務局より、「残部がありますので贈呈させていただきます」の添え状をつけて郵送致しました。

10月14日付で、小林会員から当クラブ宛てに、お礼状を頂きました。

「このたびは、『奉仕の哲学』一部早速お送り下さいまして誠に有り難うございました。ゆっくり読ませていただきます。料金については(贈呈)ということでしたので、思いがけないことながら、兎に角ありがたく頂戴いたします。

いささかの感謝の気持ちとしまして、貴クラブのニコニコ箱に些少の献金をさせていただきたいので、よろしく御受納下さいますようお願い致します。」

定額小為替証書2,000円を同封頂きました。

他に、福岡東RC、松田尊文氏(福岡)、立川安二郎氏(諫早)よりご依頼により贈呈いたしました。



10月22日/12件 31,000円

99～2000年度累計 539,300円

多額の御寄付を有難うございませ

小澁雅亮/寺田陽次郎さん、御多忙の折、本日の卓話有りがとうございます。宮本正祥/寺田さんのルマンの話、楽しみにして来ました。小杉真史/海外出張のため、2週お休み致しました。理事、役員、そして大日方さんご迷惑をお掛けしました。河原勢自/お誕生祝いありがとうございました。歌舞伎観劇会、吉岡さんご苦勞様。田中武/この月曜日、孫が誕生しました。佐々木忠行/吉岡さん、河原さん、先日の歌舞伎鑑賞会楽しませてもらいました。ありがとうございました。開発英基/アンケートの締切がせままってまいりました。よろしく願います。鈴木康一/ロータリーの出席のことを考えると、一週間が早いこと、早いこと。石井謙次/めつきり秋らしくなりましたね!加藤昌明/秋らしくなりました。福島賢哉/よい季節になりました。大日方真/南との合同例会、盛会を祈念して。

次週予告 11月5日 第631回例会

◎次年度(2000～2001年度)理事・役員候補者指名

◎卓話 「臓器移植応援団」

ビバ・トランスプランテーション代表
木村 春江氏



◎卓話「ル・マン24時間」

(株)オートエクゼ

代表取締役社長

寺田 陽次郎 氏

◎会長報告

フィリピン・エドゥイーナビーチのパセイメトロ・フィリピンズRCよりゲストをお迎えし、バナー交換を致しました。

◎環境保全委員会(開発委員長)

環境保全に関するアンケート、締切は10月29日(金)ですので、よろしくご協力をお願いします。

◎国際奉仕委員会報告(佐々木委員長)

①台湾大地震援助金ご協力のお礼

「義援金ボックス」に170,000円の募金の協力を頂きました。ありがとうございました。

全額第2750地区を通じて台湾へ送金致しました。

②千代田分区分CグループIMにご出席をお願いいたします。A分科会に5名、B分科会に6~7名、C分科会に4名、合計20名程度の御出席を予定しています。

第2750地区千代田分区分CグループIM

(東京芝・東京築地・東京新南・東京日本橋西・東京シティ日本橋RC共催)

(日時)平成11年11月16日(火) (会場)学士会館

(第1部)分科会(14:00~15:20)

A 会員増強及び女性会員の入会について(会場3F302号)
担当 築地RC 三羽正人会員増強副委員長

B ロータリークラブの人的援助について(会場3F320号)
担当 新南RC 佐々木忠行国際奉仕委員長

C 青少年交換についての現状と問題(会場2F202号)
担当 芝RC 斉藤進一ボランティア委員長(元地区青少年交換委員長)

(第2部)分科会報告及び講評(15:30~16:00)

担当 シティ日本橋RC大橋幸男クラブ奉仕委員長

A分科会報告 三羽正人会員増強副委員長(築地RC)

B分科会報告 佐々木忠行国際奉仕委員長(新南RC)

C分科会報告 斉藤進一ボランティア委員長(芝RC)

講評 加来ガバナー補佐

(第3部)懇談会(16:00~16:30)

担当 日本橋西RC

◎親睦活動委員会報告(大山副委員長)

「話しができる、話しが聞ける」恒例の火曜会、11月2日(火)18:00~19:30に柴本会員、入沢会員(92~93年度会長、幹事)を迎えて、東京全日空ホテル37F「アストラ」で開催致します。お誘い合せの上おいでください。

◎新南RC友もあ会(石井会員)

会員の親交を深める友もあ会を下記の通りに開催致しますので、ご参加をお願いします。

日時 11月17日(水)18:30

会場 旬泉坊(渋谷区広尾1-1-40 恵比寿プライムスクエアプラザ)

◎慶事披露

●誕生日祝/福島賢哉君(10月23日)、荒木 昭文君(10月26日)、佐藤定宏君(10月31日)

◎出席報告

●会員70名/出席45名・欠席25名(出席規定免除者7名)

●ビジター5名●ゲスト1名

東京新南ロータリークラブ

会長:渡部一元 副会長:西澤正雄 幹事:小杉真史

〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL:03-3505-5976 FAX:03-3505-6004

例会日:毎週金曜日 12時30分

例会場:東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL:03-3505-1111

社会奉仕委員会報告

1.港区立高陵中学校 全生徒300名に対する「救命救急講習」費用の一部援助

地域調査委員会と連携し当委員会の本年度社会奉仕活動の一つとして実現した港区立高陵中学校全生徒300名による「救命救急講習」の受講と同認定証取得の為の費用の一部援助については、10月19日(火)渡部会長、石井、福島両会員そして私の4人で同校を訪問し、金本日出夫 校長立ち会いのもとPTA 副会長豊永 操氏に寄付金(10万円)の贈呈を致しました。

21世紀を迎え、文部省の学習指導要領も大きな変換を遂げることが決定されている流れの中で「総合的な学習の時間」カリキュラムとして学校、生徒、PTA三者が協議協力して今回中学生が地域社会に貢献できる「救命救急講習」を全生徒が受講出来る授業が実現するはこびとなりました。

2.港区社会福祉協議会と連携によるボランティア団体への支援

10月22日渡部会長、福島会員そして私の3名で港区社会福祉協議会をお訪ねして、同会の中澤次長、森ボランティアセンター長立会のもと臓器移植の啓蒙運動をしているボランティア団体「ビバ・トランスプランテーション」とバリアフリーの街づくりの活動をしている「車椅子と共に歩く会」の二つの団体に対し寄付金(各10万円)の贈呈を致しました。

本年度の社会奉仕活動は、寄付金の援助と同時にその団体を通じて当クラブも社会奉仕を勉強させていただいたり、体験させていただいたりの方の双方向の活動を心掛けております。

11月5日は、「ビバ・トランスプランテーション」代表木村春江氏の卓話、そして11月27日は「車椅子と共に歩く会」の街を歩く活動に当クラブ会員も参加し体験学習の機会を予定しておりますので皆様ご期待下さい。 社会奉仕委員長 荒木 昭文



高陵中学に救命救急講習費用を贈呈する渡部会長と荒木社会奉仕委員長



港福祉協議会の2団体へ寄付金を贈呈する渡部会長と社会奉仕委員長

意義ある業績賞 ~危険を機会に一変~

かつて人気のあった飛び出しナイフは現在日本では販売禁止となっています。しかし多くの青少年が今でもこのナイフをポケットや学生カバンに忍ばせており、他人を脅す事件も発生し、法律を重んじる日本人の憂慮の種となっています。警察も犯罪防止協会も青少年にナイフを手放させることが出来ていません。

しかし、三重県の伊勢南ロータリー・クラブは、利他主義を呼びかけて多数の青少年にナイフを捨てるように説得しました。13の中学校と16の高校の生徒に、「パラオ共和国の国民があなたのナイフを欲しがっています」という率直な手紙を送りました。太平洋の島国であるパラオは三重県と姉妹関係を結んでいます。この手紙と共に送られたパンフレットには、パラオではナイフが漁や狩猟や食糧集めに欠かせない高価な必需品であることが説明されていました。

ロータリアンの要請に感銘した生徒達は、多くは匿名で300本以上のナイフをロータリーが用意した料金前納の袋を使って送り返しました。その後、学生6人がパラオを訪問し、集められたナイフの一部を島国の住民に渡しました。伊勢の海事高校の生徒達が残りのナイフを修学旅行の航海中に届けることを約束しています。

日本全国の注目を集めたこの独創的なプロジェクトで、伊勢南ロータリー・クラブは意義ある業績賞を獲得しました。1998~99年度は傑出した地域あるいは海外での奉仕を称えるこのR1賞の創立30周年であり、世界中で113クラブが同賞を受賞しました。

「Rotary World」99年7月

<会報委員>

相澤 成憲、福島 賢哉、後藤 信夫、
後藤 完夫、加藤 昌明、清原 元輔、
村山 公士、田中 武、圓谷 正和、
保森 登、吉岡 琢磨、吉田 武